

会 議 録

1. 会議名

平成22年度 第1回仙北地域協議会

2. 会長あいさつ

3. 市長あいさつ

4. 会議録署名委員の指名

5. 議題（公開・非公開の別）

(1) 地域公共交通の提言について（公開）

(2) 意見交換（公開）

(3) 地域枠予算について（公開）

6. その他

(1) 「仙北地域光ブロードバンド推進協議会」設立総会について

(2) 協議会委員の委嘱されている委員・役職の調査について

7. 開催日時

平成22年4月19日（月） 午後3時～

8. 開催場所

仙北庁舎「第1会議室」

9. 傍聴人の数

0人

10. 出席したものの氏名

委 員：池田キミ 池田武 大澤隆夫 熊谷政子 黒澤三郎 今野順子
佐々木忠雄 佐藤昇 佐藤力哉 進藤豊和 進藤勇吉 須田若子
戸澤龍悦 原松男 千葉嗣助
（委員15名の出席、欠席3名 茂木保治 小柳都 池田佐喜男）

出 席 職 員：総合支所長 佐々木ジョージ

総合政策課 課長 小松英昭 副主幹 福原敬 副主幹 高橋正人
秘書課 副主幹 齋藤博美

市民課 課長 櫻尾幸雄 農林振興課 課長 佐藤喜三男
建設課 課長 佐々木博 教育委員会 仙北分室 室長 小松徹
健康増進センター仙北分室 主幹 武藤和子
地域振興課 課長 高橋薫 参事 伊藤隆造 主査 鈴木美奈子

11. 発言内容

高橋地域振興課長

【開会】

第1回仙北地域協議会の開会の宣言

職員紹介（副市長、本庁職員、仙北地域人事異動職員）

佐藤会長

【会長あいさつ】

皆さんこんにちは、大変お忙しのところご出席いただき有り難うございます。もうすぐ桜の季節となりますが、大分寒くて先週の土曜日は降雪があり角館も23日から桜祭りということで、準備しておりましたが、まだまだ蕾は固いようです。家の鉢植えの梅がやっと一輪咲きました。春先にもかかわらず気温が低くて体調を壊している人が多いようです。みなさんも体調にはくれぐれも注意していただきたいと思います。さて今日は大仙市の山王丸副市長をお招きして提言等ございます。スムーズな審議をお願いしたいと思います。以上であいさつを終わります。

山王丸副市長

年度初めの大変お忙しいところお集まりいただきまして大変有り難うございました。市長も他の会議に出掛けておりまして替わって参加させていただきました。仙北地域協議会の開催にあたり一言ご挨拶申し上げます。

皆さんご承知のことと存じますが、大仙市では合併後もきめ細やかな自治が行えるよう、合併旧市町村の8つの地域に「地域自治区」を設置し、それぞれの自治区に地域協議会を設けてから、5年が経過いたしました。地域協議会は、住民がそれぞれ地域の課題などについて話し合い、住民自らが地域のために行動する機会を作っていただくとともに、市民の目線から施策を提案していただくシステムであり、地域自治区制度における最も重要な機関であります。

また、大仙市の大きな特徴として、地域の特性を活かした事業や地域が抱える課題に迅速に対応出来るよう設けました「地域枠予算」があり、各地域協議会においてこの予算を活用することによって、市民のまちづくりへの参画意識を高め、市民と行政の協働によるまちづくりが着実に進んできているものと考えております。

こうした取り組みを進めるにあたりましては、当然ながら主役は市民の皆様であり、市民が活躍すべきところは市民から担っていただき、

行政として取組むべきところは行政が担うことを基本に、お互いに協働し合うことが大切であると考えております。行政は市民が活躍できる環境を整えるためにはどうしたら良いか、市民にとって本当に必要なこと何かを常に考え、施策に反映していく必要があるものと思っております。「市政は市民のために」という市長の基本理念のもと、市役所も市民と共に汗を流しながらまちづくりに取り組み、地方分権時代にふさわしい「市民と協働によるまちづくり」を目指して、引き続き努力してまいりたいと考えております。

本年度の地域協議会関連予算におきましては、引き続き各地域協議会委員の皆様を対象とした全体研修を開催するほか、視察研修などの活動を支援する事業に要する経費を措置するとともに、地域枠予算を市全体で500万円増額し、増額分については大曲地区を除き、人口割に応じて案分して配分しております。また、今年度の仙北地域の主な事業を簡単に説明させていただきます。一つ目といたしまして池田氏庭園の洋館修復工事がありまして金唐革紙を貼る内装工事を予定しており、10月には完成予定です。毎年行なわれている2回の特別公開とは別に完成見学会を予定しております。2つ目といたしましては仙北ふれあい公園事業(平成16年～22年度)でありまして、2ヶ年で建設を進めてきたふれあい体育館、平成21年12月7日の開館から盛んに利用されておるようです。今年度は第2駐車場と体育館周辺の整備を行ない、それぞれの事業を万全にしてこの事業を完了する予定です。3つ目といたしまして戸地谷地区簡易水道事業(平成19～22年度)につきまして戸地谷地区の全域(計画給水人口1,200人、配水管延長6,768.8m)に配水管を布設し、給水を開始する予定です。

そしてさらに、昨年度委員の皆様には、少子高齢化や人口減少の中で、大きな転換期を迎えつつある「地域公共交通の今後のあり方」について、複数回にわたって活発なご議論をしていただき、市に対する提言としてまとめていただきました。難しい問題であることから、意見の取りまとめにあたりまして大変ご難儀をおかけしたことと思えます。この場をお借りして厚く感謝申し上げます。

今後も、山積みするさまざまな課題について、地域協議会の皆様と議論を重ねながら、市民の皆様が生き活きと活躍でき、地域に愛着や誇りが持てる安心して暮らせるまちづくりを進めていきたいと考えております。委員の皆様におかれましては、これまで以上のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本協議会が一層稔りあるものになることをご祈念申し上げまして、簡単ではありますがご挨拶とさせていただきます。

佐藤会長

大変有り難うございました。続きまして会議録署名委員の指名を行

ないます。池田武委員、今野順子委員にお願いいたします。議事に入る前に今日の欠席委員を紹介いたします。茂木保治委員、池田佐喜男委員、小柳都委員から欠席の届けがありました。議事に入ります。

伊藤参事

提言については地域協議会でご審議いただいたことについて提言とさせていただきます。協議会会長よりご提言をいただき、その後提言書を副市長に手渡ししていただきたいと思いますので、会長より御発声をお願いいたします。

佐藤会長

【(1) 地域公共交通の提言について】 資料1朗読
- - - 会長より副市長に提言書を手渡し - - -

山王丸副市長

大変具体的な提言をいただいたと思っております。23年度から5年間の地域公共交通計画をまとめる年にあたっていることから、「大仙市地域公共交通活性化再生協議会」「交通対策チーム会議」という会議の場がありまして、その会議に一つ一つ取り上げて制度も財源も含めたきちんとした検討をし新たな計画の策定の参考にしていきたいと考えております。

佐藤会長

従来バス路線があってもバス路線から非常に遠い地域が仙北地域にはありまして、是非その辺をおくみいただいて運行できるようにお願いいたします。

【(2) 意見交換】

佐藤会長

意見交換ですが、副市長が見えておりますので、意見のある方はお願いいたします。前回の会議では地域公共交通以外でも提言を実施しました。総合支所のほうで解決できる部分、いろいろ迷った部分がありました。具体的には地域公共交通が一番重要なことでありましたが、新たな体育館の使用にかかる部分とか大仙市の自動販売機を削減していくことが省エネになるのではないかと、地域のテニスコートが雨天になれば水はけが悪く暫く使用できない、周辺の地域には全天候のテニスコートがあるので、仙北地域にも是非欲しいし、スポーツ少年団等で優秀な成績を残していることから整備していただきたいという提言もありました。進藤(勇)委員からテニスコートについてご発言願います。

進藤(勇)委員

私達のスポーツテニスには旧仙北地域と旧大曲地域の人たちで行なっております。今は健康広場と言う所で夏は練習しております。これは中学校の部活やスポ小の場と同じところですが、冬はふれあい体育館を使用させていただいております。そのちょうど向い側に健康広場があ

りまして土のコートとなっております。ラインも布製で金槌で固定しております。にがり土を固めており、このようなコートは大仙市では見かけなくなりました。なんとか全天候のテニスコートをお願い出来ないものかということで出ささせていただきました。中学校、スポーツ少年団は全県的にみてかなり良い成績を挙げております。また、現在、中学校の側の旧体育館跡地がありますので、その場所に全天候のコートを設置してもらえないでしょうか。その場所は2面しかできないのではないかと考えております。公式の試合はできないと思いますが最も良い場所だと思っております。よろしく願いいたします。

佐藤会長

副市長より答弁願います。

山王丸副市長

各地域にそういう施設が必要かどうかということがあるかと思えます。全地域のバランスを考えて検討の上、整備をするという順番になります。やればよいのですが、ただ現在あるものに加工してなにかできたらそれの方が良いのですが、持ち帰って検討してみたいと思います。

佐藤会長

スポーツ施設は合併前の施設が大半です。市としても大きな視野で中途半端な施設でなく、コートが10面あってもよいと思います。いずれにしても、都市計画もしくは教育委員会予算に反映していただきたいと思えます。他にございますか。

千葉委員

払田柵東建物が2～3年前から雨漏りしております。どこの施設にいても雨漏りしているところありません。応急措置していただけないでしょうか。

佐々木支所長

その関係は文化財保護課ですので、お話しして早急に対応するように話します。

池田(武)委員

この前協議した須田委員の朝夕の防災無線のことですが、その後どうなりましたか。

佐々木支所長

須田委員からのご提言で7時のチャイムを市民歌に市職員で変更いたしました。業者でなく職員が調整したので、音量が不足しております。放送したらいろんな意見がよせられましたが市民歌ですのでみんな覚えるまでは続けたいと思えます。

熊谷副会長

地域交通に関することですが、仙北自動車学校では顧客の運送等実施しておりますので、地域交通をお願いしたらどうだろうかと思っております。

	おります。
佐藤会長	私もインターネットで調べて見ましたが、非常に法的にクリアしなければいけないものがある。簡単にはいかないようです。
進藤（豊）委員	スポーツ振興に関しては合併前と違い、それぞれの地域によって取り組みに温度差が出てきたように感じます。健康体力づくりに市の方でもう少し力を入れてほしいと思っております。
山王丸副市長	具体的にお話ししていただけないでしょうか。
進藤（豊）委員	いろんな各地域でスポーツイベントがありますが、参加率が段々下がってきております。その理由として予算不足があると思います。殆どのスポーツが生涯スポーツということになってきました。大曲ではスポーツクラブをつくっておりますし、太田では作ろうとする動きがあります。当地域ではまだなされておられません。行政からの指導が欲しいと思っております。
小松分室長	イベントには参加率が少ないようです。一人でも多くの方が参加するよう頑張りたいと思います。地域の温度差ですが、それぞれの地域を調査いたしまして、検討してみたいと思います。
佐々木（忠）委員	ふれあい文化センターに陶芸の釜があります。今月の臨時議会に上程される予定となっているそうです。是非早く直していただきたいと思っております。県展をめざしている人もありますので、よろしく願いいたします。
山王丸副市長	今月の28日が臨時議会なので順調にいくと願いは叶うと思っております。
今野委員	先程の防災無線ですが、子ども達が集団登校する際に7時のメロディを聴いて学校に出発しているので、市民歌になって聞こえなくなりました。防災無線がそういう使われ方をしているということも知っていただきたいと思っております。
池田（武）委員	子ども達の情操教育には必要だと思います。
佐々木支所長	メモリーの中に入っているメロディであれば、音量を高く聞きやすくできますが、業者に頼むとお金がかかる話なので、職員で対応させていただきます。そのような使われ方をしているとすれば、時間をいただ

いて検討させていただきたいと思います

山王丸副市長

地域枠予算で対応したらいいかがでしょうか。

佐々木支所長

地域枠予算を利用して、市民歌をメロディとして放送したいと思います。なるべく早く実施したいので、この場で決議いただいたことにさせていただき、後ほどの地域協議会にお知らせしたいと思います。

佐藤会長

この場で皆さんの同意が得られれば、すぐに地域枠予算を使用して改善するようです。いかがでしょうか。

【全員一致で異議なしの声有り】

佐藤会長

そうすれば、地域枠予算で修繕するということで支所長お願いいたします。

佐々木支所長

早急に対処させていただきます。

黒澤委員

文化財の方は埋蔵物に重きが置かれている状態である。古文書の調査ですが、ボランティアで実施しておりますが、協力してくれている方には心苦しく思っております。何らかの助成があればなお一層の古文書の解明ができると思います。池田（キ）委員も会員です。

池田（キ）委員

黒澤委員さんはいつもそのことで心苦しく思っているようなので、心情をお察しいただきたいと思います。

山王丸副市長

鈴木空如や池田家など様々の種類の文化的のものがああります。そのどれにも力を入れるべきだと思います。ただ順番はあるかと思ひます。この古文書の解読に、どれぐらいの人数が必要か等あれば、予算化はできると思ひます。少しは委託経費等支出できると思ひますのでこの場は預からせていただひきたいと思ひます。

黒澤委員

何回もいうようですが、協力してくれる方々は後世に残すために必要なものというように危機感をもってやってくれているので、よろしくお願ひいたします。

山王丸副市長

受け止めて持ち帰らせていただきます。

佐藤会長

眠っている古文書がたくさんあると思ひますが、コーディネイトする人を一人つけて優先順位を決めてやっていく方法もあると思ひます。

佐藤会長 他になければ、地域枠予算について伊藤参事より説明願います。

伊藤参事 【(3) 地域枠予算について】資料：平成22年度地域枠予算の執行方針(素案)仙北地域並びに資料NO1 農村公園芝生植栽事業の説明について

佐藤会長 説明がおわりました。この事業についてご意見の有る方はいらっしゃいますか。

原委員 農村公園の芝生の植栽ということですが、これが年度当初に上程されたことについては、非常に戸惑っております。それというのも、この自治会は敷地の舗装ということで前に地域枠予算を使用しております。また、地域枠予算の緊急性には芝生の植栽はふさわしくないように思われます。年度末になって予算に余裕があるときには実施してもかまわないと思いますが、今後どのような問題が発生するか予想がつかないので、この事業は検討の余地があると思います。前例を作れば今後もこのようなことが多くなっていくと思います。私としては、悩んでいる状態です。

大澤委員 芝生というのは植栽の時期は決まっているのではありませんか。そういうことも考えて判断したほうが良いと思います。

伊藤参事 参考までですが、舗装の整備については仙北地域で11件あります。また、会館の外構整備で花壇整備が4件ほどあります。前例が無いわけではありません。寺村自治会の言い分としては、今の時期にお願いして、時機を逸しないようにしたいということを聞いております。

佐藤会長 過去において花壇の整備事業ということもありましたね。

熊谷副会長 伊藤参事、地域枠予算を使用するに制限がたくさんありましたので、そのことを説明願います。

伊藤参事 上限が30万円ということと、地域の方々が協働作業を行なうということ、寺村の例ですと黒土と山砂を持ってきていただいて転圧するのは自治会の会員の方々であり、予算の内訳も原材料だけで、転圧にかかる経費は自治会持ちとなっております。

熊谷副会長 申請があるのを受理するのは楽ですが、一つを認めると際限がなくなるという原委員の意見を尊重すべきではないでしょうか。

佐藤会長	前年は地域枠予算を使い切れずに若干余ったようですが。
千葉委員	型ということですが、会館の駐車場整備より農村公園と変化している。他の児童公園にも拡大するということが出てくると思います。
佐藤会長	11 会館駐車場整備したようですが。
伊藤参事	会館は仙北地域で 44 会館ございます。その内の 11 会館は地域枠予算を使用して駐車場整備をしました。
進藤（豊）委員	44 会館の内 11 会館を整備したという話でしたが、残り 33 会館を把握して緊急に整備しなければならないといころがないでしょうか。
伊藤参事	自治会の会議で制度の説明しております。申請に基づいて地域枠予算で協議されるものです。協働でということ、30 万円オーバーした場合は自己負担という制限がございますがご相談には応じますと会議では説明しております。
佐藤会長	申請しなければ、この場に上程されることはないので、情報をよく分かって申請している地域が優先されます。その他の地域はどうだろうかと疑問に感ずることもあります。
佐々木（忠）委員	反対ではないのですが、千葉委員の意見に同感です。この型に今後もこの事業を当てはめて行くかということです。個人的にはやらせたいと思います。時期的なものがあると思いますので今の申請しかなと思います。
佐藤会長	事務サイドで農村公園という名称を変えてもらうことができないものかと思いますが。
佐藤（昇）委員	農村公園という名称からは基盤整備という土地改良事業で生み出されたものと思われます。本来でありますと基盤整備事業の中で事業をやっていたらよいと思います。
池田（武）委員	農地・水の補助金で対応できますか。
佐藤農林振興課長	花壇の場合は補助対象になりますが、事業主体は行政ではありません。

原委員	私の言いたいのは、緊急度、優先順位を把握しながら協議していく必要性です。
千葉委員	会館駐車場をある程度事務局より整理していただき、この問題が拡大して行かないように調査していただきたいと思います。
佐藤会長	そうすれば保留にするということによろしいですか。
伊藤参事	保留ということは前例がございません。条件をお話することは地域協議会を代表してお話する任には不適かと思いますが。
熊谷副会長	年度末になって予算に余裕が生じた場合という風に返答したら良いのではないのでしょうか。
伊藤参事	来年の3月にしてくださいとお願いすれば良いですか。
佐藤会長	来年の3月にもう一回上程していただくというのでいかがでしょうか。
伊藤参事	そのように寺村自治会にお伝えしたいと思います。
佐々木支所長	植える時期については真夏でなければ良いということです。また、子ども達の安全性を考えてということですが、また農村公園という位置付けですが、この場所は農村公園ということで建設課の管理には含まれておりませんが会館に付帯するものだと考えていただきたいと思います。名称を変えて再申請していただくということではどうでしょうか。
佐藤会長	支所長が言った名称を変えて再申請していただくということではどうでしょうか。実施に関して反対ということではないのですが。
佐々木支所長	みなさんの意見をきいておりますと、反対ではないということだようです。また、優先順位というお話しがでておりますが、市の予算のように、最初から集めて優先順位を決めて実施できるのであれば良いのですが、1ヶ月おきに申請をいただき審議してもらう形ですので、その月になにが申請されるのか把握できないような状態です。その辺も考慮いただきたいと思います。
佐藤会長	次会5月の地域協議会に提出することではどうでしょうか。

伊藤参事 予算は2ヶ月に1回の開催となっております。実際、寺村自治会の総会において審議され承認された事項であります。このことから事務局としては、この案件を承認していただきたいと思いますが、皆さんが不安を感じているということの話がありましたので、ルールを設定して対処していくということも次会考えたいと感じております。

進藤(勇)委員 支所長が言った正式な名称ではないということですので、名称を変えたもので承認すべきと思います。

熊谷副会長 私は名称を変えるという条件付きでこの場で認めてもよろしいと思うんですが。

佐藤会長 それでは、条件付きでこの場で認めてもらっていかがでしょうか。

【全員一致で異議なしの声有り】

佐藤会長 次の地域枠予算の説明をしてください。

伊藤参事 【(3)地域枠予算について】NO 2刈又会館駐車場舗装事業の説明について

佐藤会長 説明が終わりでしたが、この件について大澤委員より意見を求めます。

大澤委員 今までも行なっている駐車場舗装です。規模が小さく予算も少ないので、承認してもよろしいと思います。

佐藤会長 これについてはよろしいでしょうか。

【全員一致で異議なしの声有り】

伊藤参事 【(3)地域枠予算について】NO 3川前地域環境美化事業の説明について

佐藤会長 向いには商工会の花壇があって、市の補助で植栽しています。土地も大仙市のものです。この事業の土地は国交省のものとなっています。国交省のものに助成する必要があるかと思いますが、ご意見を伺いたいと思います。

佐々木支所長 国交省のOBが会員のメンバーになっていて大仙市以外の会員もい

る。私が建設課時代からその方々が花壇の整備をしていただいている。バイパスが完成した当時は国交省で一回だけ花壇づくりをしたが、その後は手を入れず荒れた時期があり、なんとかならないかというときに、この方々が引き受けてくれた。先程会長が言ったとおり土地の所有者は国交省ですが、協定を結んで管理は大仙市となっております。

実際は市で実施すべきものと思われま。前は苗代が国交省から支給されておりましたが、今回はそれもなくなり、今回の申請に至ったということも考慮してご審議いただきたいと思いま。

佐藤会長

そうすると河川と同じ管理ということですね。環境美化によって仙北地域の玄関として飾られることは良いことと思いま。

今野委員

毎年同様の申請がなされまか。

佐々木支所長

この方々が継続する意思があれば、来年も申請があると思いま。

戸澤委員

誰が整備しても、仙北地域の環境美化ですし、花も見るところ全て1年草のよう。おそらく来年もやっていただけると思いまので、私は大賛成です。

佐藤会長

他にございませんか。承認することによろしいですか。

【全員一致で異議なしの声有り】

佐藤会長

以上で議事を閉じま。その他に入ります。

伊藤参事

【その他】

(1)「仙北地域光ブロードバンド推進協議会」設立総会(2)協議会委員の委嘱されている委員・役職の調査について説明する。

佐藤会長

質問ございますでしょうか。大仙市より委嘱されている委員が多かったので、調査させていただきました。個人情報なので事務局で把握していただきたいと思いま。以上で何かございまか。無ければこれで地域協議会を閉じま。長時間有り難うございま。

この会議録の記載が真正であることを保証するためここに署名、捺印する。

仙北地域協議会署名委員

仙北地域協議会署名委員
